

困ったときの知恵袋

【相談】



YAMAWAの「ソリッドダイス D」は、裏面からは使用できないと聞きましたがなぜですか？ また表面と裏面を見分ける方法があれば教えてください。

【回答】

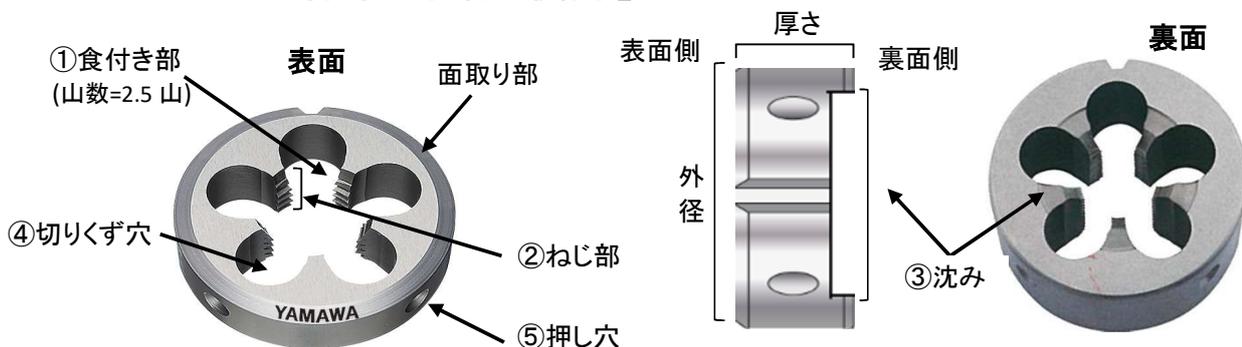
当社も以前は、JIS規格に沿って食付き部が両面にあるソリッドダイスを製作していました。しかし、両面の食付き部の長さが異なり、切削性も違うため、熟練した作業者が、十分な知識を持って使いこなす必要がありました。そこで、加工性能の一元化と安定化を図るため、表面だけに食付きを付け、誰でも分かり易く、使い易い「ソリッドダイス D」にしました。

また、食付き部が表面のみになったので、加工基準面となる裏面には、沈みを施すことで、ホルダとの密着性が向上し、面振れが少ない安定した加工が行えるようになりました。

なお、ソリッドダイス D の表面は、「YAMAWA」のマーク刻印がある方になりますよ。



【ソリッドダイス D の各部の名称と役割】



ソリッドダイス D の各部名称の役割

- ①食付き部 ダイスが工作物に食い付いて、ねじ山を切削し形成していく部分。ダイス自身を案内する役割も果たす。
- ②ねじ部 食付き部を含んだねじ山のある部分。また、完全ねじ山部は、食付き部で形成されたおねじに入り込みねじガイドとしての役割も果たす。
- ③沈み ダイス裏面を削り取った部分。ホルダへの密着性を高める役割を果たす。
- ④切りくず穴 切りくずのたまり 又は排出を目的とし、加工をスムーズに行うための油剤供給の役割も果たす。
- ⑤押し穴 ダイスをホルダに固定するために使用する締め付けボルトの当たり穴。



右の写真は、ソリッドダイス D の加工状況です。非常に安定した加工ができましたよ。

他にもソリッドダイスに関する知恵袋もありますよ。検索画面より、商品→ダイスで見てくださいね。

